

令和4年度第2回県土整備政策会議開催結果

県土整備部が行う社会資本整備や良好な生活環境の整備などの様々な政策に関して、学識経験者等からオープンに意見をいただく場として、県土整備政策会議を設置しており、以下のとおり、令和4年度第2回会議を開催しました。

1 日時 令和4年9月5日（月）午後2時00分から午後4時00分まで

2 場所 県庁講堂棟 131・132会議室

3 出席者

（委員） ※別紙委員名簿のとおり

（県土整備部） 県土整備部副部長（企画総務担当）、建設業課長、
公共事業運営課長、技術管理課長 他

4 議題と委員意見の概要

下記の議題について担当課長からプレゼンを行い、各委員からご意見・ご提案をいただきました。

～プロローグ～ 三重県の建設業をとりまく現状

議題の説明に先立ち、建設業の現状や課題、県土整備部が直面する課題など、三重県の建設業をとりまく現状について説明しました。（説明のみ）

（1）建設業の担い手確保に向けた取組の効果

建設業の担い手確保・定着に向けた県の取組や、取組を推進するうえでの課題を説明し、建設業の魅力発信や休日の確保など、現在行っている取組の効果をどのように確認するべきかについて意見を伺いました。

【主な意見の概要】

- ・効果の指標として、建設業への職業選択に加えて、特に普通科の高校については、土木系または工学系の学科のある大学への進学実績も調べてはどうか。
- ・週休2日の達成率は内容が大事。2日間が希望する2日だったのかという追跡も必要ではないか。今の学生は休みを重視している。土日に取れているのか、いつ取れているのかがきちんとわかるようにすることが重要である。就職したら実際は有給休暇込みだったという話も聞く。リアルな実態が知りたい。
- ・建設業のイメージについては、重要性や貢献度合いが伝わっていない部分があるので、先生や子ども達に伝えていければよいのではないか。
- ・教員へのアンケート調査に加えて、例えば高校生のリクルートについては、親の意見っていうのが非常に重い要素としてあるので、そのあたりのアンケートもとれると非常に良い分析になるのではないか。

・独立行政法人労働政策研究・研修機構が示している入職定着しない原因について、三重県の場合はどうなのかというところをもう少し分析してはどうか。教員へのアンケートにリンクするところだと思う。

・就職後の追跡調査が大事だと思う。例えば、新卒3年目までの方を対象に調査してはどうか。さらに、5年10年と継続的に調査をしていくことができれば、改善のポイントがかなり把握できるのではないかな。

(2) 技術系公務員の人材育成

県土整備部の役割や人材育成の現状を説明し、県に求められる役割が変化していく中で、それに応え続けていくためには、どのような人材の育成をめざしていくべきかについて意見を伺いました。

【主な意見の概要】

・学会活動を有効に活用すると良いのではないかな。学会に行くという経験も大事だが、最新の情報は結構学会誌に掲載されている。学会誌を読んで、それを説明し、教え合うような活動は非常に効果的だと思う。

・ずっと座って聞いているというような座学型の研修ではなく、学んできたことを発表し合うアクティブラーニングや、ケーススタディ的な研修を増やしてはどうか。

・現場力や基礎が一番大事だと思う。基礎の土木技術力というところは、改めてもっと濃くしてもいいのではないかな。

・経営の視点を学んでほしい。具体的には、財政状況が厳しくなる中、県民目線でどうしても必要な部分は何かな、どういう理由で必要なのかというところを研鑽して行ってほしい。

・技術系のゼネコンやコンサルタントでは、技術士の資格を持っている人が多いが、公務員はほとんど持っている人がいないという現状があると思う。技術士の資格をもっととらせるようにするのが大事ではないかな。

・OBなどで実際に現場にいた人の生の声や体験を聞くことが重要だと考える。

・官民の交流が大切だと思う。民間に出向するような研修があると、かなり勉強になるのではないかな。お互いどのように仕事しているかという理解が高まると、今後仕事がしやすくなると思う。

・官公庁や民間企業、学生が参加する長期の研修プログラムに参加するなど、分野横断や組織横断で学ぶことがすごく大切だと思う。

今回いただいたご意見については、十分な検討を行い、取り入れることができるものについては積極的に取り入れ、事業推進をはかってまいります。

【会議の様子】



令和4年度第2回三重県県土整備政策会議 出席委員名簿

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・職名	備考
岡島 賢治	三重大学大学院生物資源学研究科 教授	
清水 良保	株式会社久志本組 代表取締役社長	
下野 幸助	三重県議会議員	
鈴木 宙	三重大学生物資源学部 4年生	
竹田 佳彦	中日新聞三重総局 記者	
坪井 あづさ	株式会社エイゼットソリューション	
安岡 優	株式会社百五総合研究所 主任研究員	
吉田 楓	三重大学生物資源学部 4年生	